

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

○5月観光情報

【あしかが『美』食まつり2023】

足利市内の農家の方々が手塩にかけて育てたJA足利の農産物ブランド「あしかが美人®」。その中のトマト・アスパラガス・いちごが旬を迎える時期、市内の飲食店とコラボレーションして珠玉のメニューとなって登場します。

これまでの、パスタ、パンケーキ、パフェ、などに加えて、今回、ドライカレーや天ぷらなど新たなメニューもお楽しみいただけます。

対象メニュー商品の写真を撮影し、Instagramにハッシュタグを付けて投稿した方の中から抽選で賞品を贈呈する「インスタグラムフォトキャンペーン」を今回も行います。また、店舗によってはイベントのチラシ持参した方へのサービス提供もありますので、ぜひご参加・ご賞味ください。

日 時:5月7日(日)まで 各協賛店舗の営業時間内

場 所:足利市内各協賛店舗

問合先:あしかが『美』食まつり実行委員会(事務局:一般社団法人足利市観光協会)

☎0284-43-3000

【物外軒茶室無料公開】(足利市指定文化財/国登録記念物)

この茶室は、もともと猿田の萬屋三代目 ^{よろずや} 長 ^{ちやう} 四郎三氏によって、明治初期に渡良瀬川河畔の萬屋邸内に建てられました。この四郎三という人は、江戸にも聞こえるほどの豪商であったばかりではなく、漢詩、和歌、俳句、書画骨董の収集にも通じる教養人であったと伝えられています。

茶室は表千家不白流(おもてせんけふはくりゅう)の流れを汲むもので、木造平屋の切妻造(きりづまづくり)、三畳台目(さんじょうだいめ)の茶室と三畳の次の間、勝手、水屋からなり、建築に当たっては日本を代表する古筆鑑定家 古筆了仲(こひつりょうちゅう)の指導を受け、慎重を期したと言われています。

春の一日、この茶室に佇むと幕末から昭和にかけて栄えた足利屈指の豪商の奥座敷にタイムスリップしたかのような雰囲気を感じることが出来ます。

日 時:5月の土・日・祝日、6月の第2日曜日 各日午前9時～午後4時

場 所:物外軒(通6丁目3165-2番地 織姫公民館北側)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約20分

JR両毛線足利駅より徒歩で約20分

北関東自動車道足利ICより約15分

東北自動車道佐野藤岡ICより約40分

問合先:足利市文化課文化財保護・世界遺産推進担当 ☎0284-20-2230

【足利春まつり】

ゴールデンウィークを中心に、市内を散策する「あしかが春ウォーク」などのイベントが予定されています。

期 間:4月15日(土)～5月21日(日)

場 所:市内各所

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約10分

JR両毛線足利駅より徒歩で約10分

北関東自動車道足利ICより約10分

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

東北自動車道佐野藤岡ICより約30分
問合せ先:足利春まつり実行委員会(事務局:足利商工会議所) ☎0284-21-1354

☆ふじのはな物語～大藤まつり2023～

350本以上の藤の花と5,000本以上のつつじが咲く「ふじのはな物語～大藤まつり2023～」。世界一の美しさを誇る、600畳敷ほどの大藤棚3面、80mも続く白藤のトンネルや、きばな藤のトンネル、スクリーン仕立ての藤など息をのむ美しさを堪能できます。

そして、この藤が夜はライトアップされ、皆さまを別世界へと誘う神秘的な姿もご覧いただけます。うす紅藤、大藤・むらさき藤、白藤、きばな藤の順に約1か月お楽しみいただけます。

5,000株以上咲き誇るつつじは例年ですと4月中旬から5月上旬頃が見ごろです。

新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては開催規模の縮小等もございます。

期 間:4月12日(水)～5月14日(日)

※ライトアップ期間:4月15日(土)～5月14日(日)

※開花状況により期間は変更になる場合もございます。

入園料:大人900円～2,100円、子供500円～1,100円

※夜の部(夜の部入場券は午後5時30分から販売)

大人700円～1,900円、子供400円～1,000円

営業時間:4月12日(水)～4月14日(金)9:00～18:00

4月15日(土)～4月21日(金)8:00～20:30

4月22日(土)～5月7日(日)7:00～21:00

5月8日(月)～5月14日(日)8:00～20:30

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町)

交 通:JR両毛線あしかがフラワーパーク駅より徒歩で3分

東武伊勢崎線足利市駅より車で約20分

北関東自動車道足利ICより約15分

東北自動車道佐野藤岡ICより約18分

問合せ先:あしかがフラワーパーク ☎0284-91-4939

【ヴァンヤード・デイズ】

ココ・ファーム・ワイナリーの醸造場で、各種ワインのテイastingやワイナリーの見学をお楽しみ頂けます。

また、イラストレーター原倫子さんの個展やグッズの販売も行われます。

◇原倫子個展 午前10時～午後6時(無料)

第39回収穫祭記念ワインラベルを描いた原倫子氏の作品をワイナリーのカフェでご覧頂けます。

◇ワイン醸造場に楽しいお店が出展予定。詳細は公式サイトおよびSNSをご参照ください。

日 時:4月29(土)～5月7日(日)午前10時～午後6時

場 所:ココ・ファーム・ワイナリー(田島町)

交 通:JR両毛線足利駅より車で約20分

東武伊勢崎線足利市駅より車で約20分

北関東自動車道足利ICより約10分

あしバスアッシー(生活路線バス)行道線バス停(ココ・ファーム入口)より徒歩7分

問合せ先:ココ・ファーム・ワイナリー ☎0284-42-1194

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

【足利市立美術館企画展 ブラチスラバ世界絵本原画展 絵本でひらくアジアの扉 韓国・日本をめぐって】

スロバキア共和国で2年ごとに開催されるブラチスラバ世界絵本原画展は、世界最大規模の絵本原画コンクールの一つです。日本巡回展として行われる本展では、近年の活躍がめざましいアジア諸国に焦点をあて、中でも隣り合う二つの国、日本と韓国のいまをご紹介します。BIB2021に参加した日本と韓国の作家による全出品作と絵本をご覧いただく他、絵本が生み出され読者に届くまでの背景を取材した特集展示、グランプリ他各賞受賞作家の作品をパネルと絵本によりご覧いただきます。

日 時:4月15日(土)～6月4日(日)

午前10時～午後6時(最終入場は午後5時30分まで)

休館日:月曜日(祝日の場合翌日)

休館日及び開館時間は変更する場合があります。

日 時:足利市立美術館(通2丁目)

入館料:一般710円(560円)、高校・大学生500円(400円)、中学生以下無料

※()内は20名以上の団体料金

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約10分

JR両毛線足利駅より徒歩で約10分

北関東自動車道足利ICより車で約15分

東北自動車道佐野藤岡ICより車で約40分

問合先:足利市立美術館 ☎0284-43-3131

【鏝阿寺春の大祭】

鏝阿寺は、鎌倉時代、建久7年(1197年)に足利義兼によって建立された真言宗大日派の本山。本尊は源氏・足利氏の守り本尊である大日如来を祀っています。

元々足利氏の館であり、「史跡足利氏宅跡」として、大正10年に国の史跡に指定されており、「日本の名城百選」にもなっています。

鏝阿寺春の大祭はご本尊大日如来の春のお祭りで、毎年多くの人で賑わい、一切経堂では期間限定の特別公開も行われます。

日 時:5月3日(水・祝)～5日(金・祝)

大護摩 午前10時30分・正午・午後1時30分・午後3時

願目は家内安全・商売繁盛・心願成就・交通安全・厄除・方位除け・学業成就

原則は1種類ですが、2種類お選び頂く事もできます。

場 所:鏝阿寺境内(家富町)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約10分

JR両毛線足利駅より徒歩で約10分

北関東自動車道足利ICより約10分

東北自動車道佐野藤岡ICより約30分

問合先:鏝阿寺 ☎0284-41-2627

【名草弁天春まつり】(開催予定)

名草巨石群の中にある弁天様の春のお祭りです。当日はお宮が開き、宮司による祝詞もあり多くの人で賑わいます。

日 時:5月4日(木・祝)、5日(金・祝)

場 所:名草巖島神社

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

行 事:神事、農産物の直売等
交 通:東武伊勢崎線足利市駅より車で約25分
JR両毛線足利駅より車で約20分
北関東自動車道足利ICより約15分
東北自動車道佐野藤岡ICより約45分
問合せ先:名草公民館 ☎0284-41-9977

【足利織姫神社春季例大祭】

足利の産業の守護神とされ、平成16年6月に社殿が国登録有形文化財に指定されました。足利織姫神社は、「天八千々姫命」と「天御鉾命」の二柱の神様(共同して織物(生地)を織って天照大御神に献上していたといわれる)をご祭神とし、現在は様々な良縁を結ぶ「縁結びの神様」として年間50万人以上の方が訪れる人気の神社となっています。

229段の石段を上った先の境内からは関東平野を一望することができ、天気の良い日は富士山や東京スカイツリーも見渡せます。

また、境内裏手の織姫公園には、桜、藤やつつじが植えられており、春は、朱色の社殿と花木の色鮮やかな風景をお楽しみいただけます。(藤・つつじは4月下旬から5月上旬が見頃です。)

お祭り当日は御神樂をはじめ合唱や和太鼓・箏曲などの奉納演奏があり毎年賑わい、お抹茶や和菓子などの販売も予定しています。

新型コロナウイルス感染症の状況によっては規模を縮小して開催される可能性もございます。

日 時:5月5日(金・祝) ※毎年5月5日こどもの日に開催

場 所:足利織姫神社(西宮町)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約30分

JR両毛線足利駅より徒歩で約25分

北関東自動車道足利ICより約15分

東北自動車道佐野藤岡ICより約40分

問合せ先:足利織姫神社奉賛会(足利織物会館内) ☎0284-22-0313

花 情 報

開花時期は、気候等により若干前後する場合がありますので、お問合せのうえお出かけください。

問合せ先:一般社団法人足利市観光協会 ☎0284-43-3000

足利市観光まちづくり課観光・ロケツーリズム担当 ☎0284-20-2165

【ふじ】

ピンク・むらさき・白・黄色と足利市に春の訪れを感じさせてくれる花。

足利織姫神社には、あしかがフラワーパークから奉納された「大藤のこども」の藤があり、満開の時期には藤棚越しに朱色の社殿をご覧いただくことができます。

時 期:4月中旬～5月中旬

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町)、足利織姫神社(西宮町)、足利学校(昌平町)

問合せ先:一般社団法人足利市観光協会 ☎0284-43-3000

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

【つつじ】

一面に咲き誇る「つつじ」は、うららかな春を感じさせ、見る人を明るい気分には誘ってくれます。

時 期:4月下旬～5月上旬

場 所:織姫公園(巴町)、山前公園(大前町)、足利公園(緑町2丁目)、
あしかがフラワーパーク(迫間町)

問合先:一般社団法人足利市観光協会 ☎0284-43-3000

行 事:神事、農産物の直売等

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より車で約25分

JR両毛線足利駅より車で約20分

北関東自動車道足利ICより約15分

東北自動車道佐野藤岡ICより約45分

問合先:名草公民館 ☎0284-41-9977

【ハーブ】

1,000㎡のハーブガーデンには、様々なハーブが育ち、その色と香りが楽しめます。

時 期:5月～11月頃まで

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町)

体 験

【八木節】

日本三大音頭の一つとされている、足利の郷土芸能「八木節」の公演資料をご覧頂いたり、実演を楽しんだりしてみませんか。(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事前にご連絡をお願い致しております。現在、実演は中止をしております。)

場 所:八木節会館(福居町580-1)

内 容:八木節の公演等

料 金:足利市八木節連合会へご確認ください

交 通:東武伊勢崎線福居駅より徒歩で約10分

JR両毛線足利駅より車で約15分

北関東自動車道足利ICより約20分

東北自動車道佐野藤岡ICより約20分

問合先:足利市八木節連合会 ☎0284-71-1214

また、太平記館では「観光八木節太平記館公演」として、足利市を訪れる観光客に、「八木節発祥の地・足利」を知っていただき八木節を通じて観光の振興を図るため、足利市八木節連合会の協力による八木節公演が行われています。

日 時:4月16日(日)～11月中旬の日曜日・祝日

午後2時～午後3時

場 所:太平記館南側駐車場(伊勢町3丁目6-4)

行 事:八木節公演

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約15分

JR両毛線足利駅より徒歩約10分

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

北関東自動車道足利ICより約10分

問合先:観光八木節実行委員会(足利市観光まちづくり課内) ☎0284-20-2264

【いちご狩り】

摘みたてで新鮮な甘いいちごが30分間食べ放題でお楽しみいただけます。
新鮮なとちおとめ、スカイベリー、とちあいかをその場で食べて、またお土産で持って帰ることもできます。

5月中旬ごろまでの営業となりますので、お早めにどうぞ。

場 所:JA足利 アグリランド株式会社 いちご農園(大久保町362)

営業期間:5月中旬頃まで

定休日:いちご狩りは毎週火曜日(祝日は営業)

料 金:4月10日(月)～5月7日(日)

一般(小学生以上)1,600円、幼児(3歳以上未就学児)800円

5月8日(月)～閉園

一般1,400円、幼児700円

交 通:JR両毛線富田駅より徒歩で約25分

あしかがフラワーパークより徒歩で約7分

北関東自動車道足利ICより約20分

問合先:JA足利 アグリランド株式会社 いちご農園 ☎0284-91-0005